

# みなみぼうそう

ひと・ゆめ・みらい 地域で創る魅力の郷 南房総

ホームページアドレス <http://www.city.minamiboso.chiba.jp> (本紙の記事はホームページでもご覧いただけます)

## ことしの予算

平成21年度 南房総市予算説明書



### 地域の景気対策に取り組みます

- 住宅取得奨励金交付制度創設
- 中小企業経営改善資金利子補給拡充
- 子育て家庭プレミアム付き商品券発行
- 保育所保育料の引き下げ

### CONTENTS

はじめに	2
地域景気対策	3
ことしの主なしごと	4
資料編	10

## はじめに

日ごろから市政の運営につきましてご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

平成21年度の南房総市の新たな取り組みとしましては、地域の景気対策のため、市民や転入者の方々の住宅建設を支援する「住宅取得奨励金交付制度の創設」や「中小企業事業資金利子補給の上限額の拡充」を行うほか、「子育て家庭プレミアム付き商品券の発行」、「保育所保育料の引き下げ」など新たな子育て支援にも取り組みます。



協働のまちづくりとしましては、地域のみなさんと共にまちづくりを進めるため「地域づくり協議会」設立の支援や、地域のみなさんが自ら考え取り組む事業を支援する「地域力を育むモデル事業」交付金制度など、新たなまちづくり事業を積極的に推進します。

また、合併特例債を活用し、約40億円の「元気なまちづくり基金」を創設し、産業の振興や地域の活性化のため、地域振興事業など市の主要事業へ活用してまいります。

南房総市長 石井 裕

## 南房総市の予算額は

「一般会計予算」は、**229億9,500万円**、  
「特別会計予算」、「公営企業会計予算」をあわせると、  
**361億1,784万円**になります。



# 1 環境・観光都市づくり

「環境にやさしい」をまちづくりの基本とし、豊かな観光資源を生かし、持続可能な経済運営およびライフスタイルを構築します。

この町の主な事業

この町の主な事業

## 「環境都市づくり」の推進

### 生ごみ処理容器など購入費補助事業 180万円

生ごみの減量を図るために、一般家庭における生ごみの自家処理と堆肥化による有効利用を推進します。コンポスト容器などを購入した場合、購入額の2分の1を補助します。



種 類	補助額(100円未満切捨て)
生ごみ処理容器(コンポスト)	購入費の2分の1(上限3,000円)
EM生ごみ処理容器	1年度で、1世帯につき2基まで
生ごみ処理機(機械式)	購入費の2分の1(上限30,000円) 1年度で、1世帯につき1基まで

問い合わせ 環境都市づくり推進室 TEL33-1042

### バイオディーゼル燃料製造事業 129万円

給食センターなどから植物性廃食用油を回収し、バイオディーゼル燃料として再利用し、製造したバイオディーゼル燃料をごみ収集車などの軽油代替燃料として利用します。

問い合わせ 環境都市づくり推進室  
TEL33-1042

### EM菌による環境浄化事業 83万円

EM菌(有用微生物群)の放流による河川環境浄化活動を推進する市民活動グループの支援を行います。

問い合わせ 環境保全課  
TEL33-1053

### 合併処理浄化槽設置整備事業 6,810万円

公共用水域の水質汚濁を防止するため、合併処理浄化槽の設置に対して補助します。昨年度から新たに11人槽以上の民宿などの宿泊施設も補助対象となりました。

問い合わせ 環境保全課 TEL33-1053



### 南房総市民環境大学事業 102万円

南房総市と日本大学生産工学部が共同で市民などを対象に環境学習講座を開催し、家庭、学校、職場などの地域ぐるみで環境に対する意識を高め、市民との協働のもと環境にやさしいまちづくりを目指します。

問い合わせ 環境都市づくり推進室  
TEL33-1042

## 2 市民との協働によるまちづくり

市民、行政、企業がお互いの役割と立場を理解しあい、地域社会に共通する課題の解決や、目標の実現に向け協力し合うまちづくりを推進します。

### 市民と行政との協働による新しいまちづくり

#### 元気なまちづくり基金積立金 39億7,000万円

合併特例債を活用し、地域住民の連携の強化、および地域振興のために基金を設置します。基金からの運用益については市の主要事業を中心に活用していきます。

問い合わせ 企画政策課 TEL33-1001

#### 市民活動推進事業

##### 地域づくり協議会交付金 450万円

地域のみなさんと一緒に、今後の地域のありかたを考え実行する仕組みづくりを進めるため「地域づくり協議会」の設立の支援や、実際に協議会が行う事業や組織の運営経費に対する交付金を交付します。

##### 地域力を育むモデル事業交付金 500万円

多様な市民ニーズへの対応や地域の課題の解決のため、地域のみなさんと行政が、共に考え実行していくモデルとなる事業を支援する交付金制度を立ち上げ、積極的に協働によるまちづくり事業に取り組みます。

##### 南房総市市民活動応援基金 1億1,000万円

市民活動を支援することにより、市民と行政の協働の推進を図るために基金を設置します。基金に積み立てた資金や運用益を活用して市民活動推進事業を行っていきます。

##### まちづくりチャレンジ事業補助金 270万円

NPOやボランティア団体など市民活動団体から自由提案事業を募集し、優秀事業を行う団体に対し経費助成するほか、活動間もない市民活動団体育成のため実施する事業に対し助成します。

また、市民活動団体の発展およびNPO法人化を支援するため、必要なアドバイザー（中間支援NPO、税理士、社会労務士など）経費について助成します。

- 1 自由提案部門・・・・・・・・・・7団体程度
- 2 立ち上げ時支援部門・・・・・・・・6団体程度
- 3 市民活動アドバイザー派遣・・10団体程度

問い合わせ 市民協働推進室 TEL33-1005



### 3 教育の充実

学校現場はもとより、家庭教育および生涯学習の充実を図り、子どもから大人まで学びを通じた人づくり、地域づくりを推進し、この地域を担う人材を育成します。

#### 食育の推進および学校教育、家庭環境の充実

**外国語指導助手派遣事業 3,987万円**  
**小中連携英語学習研究事業 200万円**

市内の全中学校に外国語指導助手（ALT）を派遣するほか、小中学校の連携英語学習支援のため民間のALT派遣などを併せて行い、生きた英語教育を推進します。



**食育推進事業 300万円**  
**知育（学力）推進事業 300万円**

南房総市教育立市プランに基づき、学校・家庭・地域が連携を図り「知・徳・体の調和と統一の取れた児童生徒の育成」を目指し「早寝・早起き・朝ごはん」運動の普及など食育の推進および学習上の課題を明確にし、その解決を図れるよう実践的研究に取り組み児童生徒の学力向上を図ります。

**奨学資金貸付事業 5,549万円**

今年度から奨学資金貸付基金の総額を1億円に拡充し学生のみなさんが安心して勉学に励めるよう経済的支援を充実します。

**学校図書サポート員派遣事業 804万円**  
**新入生図書贈呈事業 99万円**

読書活動の推進のため、学校図書サポート員を市内の小中学校に配置し、図書室の管理や読み聞かせを行います。また市内の新小学1年生全員に推薦図書の贈呈を行います。

**特別支援教育学習支援員設置事業 1,200万円**

**教育相談員派遣事業 384万円**

教育環境充実のため、さまざまな障害を持つ児童生徒に対する学習支援を行う支援員および不登校などの問題解決のため教育相談員の配置を拡充します。

**「南房総市の暮らし」制作事業 232万円**

地域の歴史・文化を学ぶ小学校社会科の副読本を制作します。

問い合わせ 学校教育課 TEL46-2962

このページの主なことば



**子育て支援拠点施設事業 854万円**

子育て支援拠点施設を丸山保健福祉センター「ほのぼの」に設置し、子育ての不安などの緩和のため、子育て親子の交流の場の提供を行います。

平成21年9月開設予定

**休日保育事業 63万円**

市内の保育所に入所されている児童を対象に白浜東部保育園において休日および祝日の保育が利用可能となります。

**学童保育所運営事業 2,918万円**

仕事の関係で放課後、保育することが困難な幼児、児童を対象にして、学童保育所を開設します。平成21年度から千倉学童保育所が開設します。

**ブックスタート事業 54万円**

ボランティアによる絵本の読み聞かせを行い、絵本を開くひと時の大切さを伝えるブックスタート事業を行います。誕生されたお子様の健やかな成長を祈念し、絵本を贈ります。



子育て家庭の支援

ひとりりをもって子育てできるよう、あらゆる面から子育て家庭を支援します。

### 5 子育て支援の充実

## 4 産業の育成

南房総の主要事業である農林水産業と観光業などの異業種を連携させ、地域資源のブランド化を推進し、新たなビジネスモデルを構築します。

### 農林水産業や商工・観光業などの異業種の連携および経営改新の支援

#### 乳用牛優良素牛導入事業 1,200万円

生乳供給安定確保、また酪農生産基盤の強化として、優良素牛導入の経費に対して補助をします。

導入予定頭数60頭

問い合わせ 農林水産課  
TEL33-1071



#### 環境保全・地産地消推進事業

898万円

地域の資源を活用した地域振興のための調査研究を行うとともに、堆肥の有効活用の推進と栽培指針の策定を行います。また地産地消の啓もうをはじめとする推進運動を展開します。

問い合わせ 地域再生室  
TEL33-1147

#### 広域・総合観光集客サービス支援事業 2,029万円

経済産業省の支援を受けて、「家族時間」をテーマに宿泊客を増やす仕組みと地場製品のブランド化や流通を促進し、それらを支える中間組織の構築を進めます。

問い合わせ 観光プロモーション課 TEL33-1091

#### 園芸王国ちば強化支援事業 2,718万円

地域特産野菜などの産地形成を図る、生産施設等の整備を県の補助を受け支援します。

問い合わせ 農林水産課 TEL33-1071

#### 原点回帰飼料増産緊急対策事業 980万円

飼料作物の自給体制強化を目的とした機械、施設などの整備に対し助成したり稲わら収集組織の取り組みに対し支援します。

問い合わせ 農林水産課 TEL33-1071

#### 水産業緊急対策事業

1,984万円

水産業振興のため、市内漁業協同組合の施設整備の支援を行います。

問い合わせ 農林水産課  
TEL33-1071

#### 公共交通の再編 2,000万円

地域公共交通活性化協議会において総合的な公共交通の体系づくりを目指します。

問い合わせ 企画政策課  
TEL33-1001



#### ぜんそくなど小児指定疾患医療費助成事業 241万円

ぜんそくなど子どもの慢性疾患のうち、治療が長期にわたりその医療費が高額になる疾患について、国が小児慢性特定疾患とし医療費の公費負担を行っています。市ではこの制度の対象外となる人のうち、18歳未満で市の登録基準を満たす人に医療費を助成しています。

#### 妊婦健康診査の

公費負担回数の拡充 911万円

妊娠・出産にかかる経済的不安を軽減し、少子化の解消および積極的な妊婦健康診査の受診を促すため、公費負担をこれまでの5回から14回にします。

#### 病児・病後児保育事業 214万円

小学校低学年までのお子さんを持つ家庭を対象に、児童が病気の回復期および回復に至らない場合で集団保育の困難な児童を、医師・看護師・保育士が専用スペースにおいて一時的に預かる事業で、鋸南町の勝山クリニックと館山市の亀田ファミリークリニック館山にて行います。

問い合わせ 子育て支援課 TEL36-1153



## 6 福祉の充実

### 高齢者福祉の充実

#### シルバー人材センター運営費補助金 670万円

一般社団法人南房総市シルバー人材センターが設立されました。和田地域福祉センターやすらぎで、安全で適正な就業を推進し、活動していきます。

#### 外出支援サービス事業 827万円

高齢者が医療機関などへ行く場合のタクシー券の配布、南房総市社会福祉協議会が行っている移送サービスや外出支援サービスに補助する経費です。

#### 緊急通報システム事業 854万円

ひとり暮らしの高齢者などの日常生活の不安を解消するために、緊急通報システム装置を貸与します。

問い合わせ 高齢者福祉課 TEL36-1154

### 障害者福祉の充実

#### 自立支援医療（更生医療）事業 1,724万円

身体障害をもたらしている一定の症状に対し、医学的処置により日常生活活動の回復、向上を図ります。

#### 特別障害者手当等給付事業 1,803万円

重度の障害をもっているために、日常生活において常に介護を要する在宅障害者（児）に手当を支給します。

#### 障害者自立支援事業（介護給付費等） 3億8,379万円

障害者自立支援法に基づき、施設に入所されている身体障害者などに対して、訓練などの支援を提供します。また、居宅において、食事・入浴・排せつなどの介護を提供します。

#### 重度心身障害者（児）医療費等助成事業 7,158万円

重度心身障害者またはその保護者に対して、医療費の一部（自己負担額）を支給し、その負担を軽減します。

#### 障害者地域生活支援事業 3,274万円

障害者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう支援します。障害者やその保護者からの相談に応じたり、必要な情報提供などを行う事業、手話通訳者の派遣を行う事業、日常生活用具の給付や貸与、障害者の移動を支援する事業などを行います。

問い合わせ 社会福祉課 TEL36-1151

### 生活保護

#### 扶助費 3億9,826万円

生活保護法に基づき、生活扶助・住宅扶助・教育扶助・医療扶助・介護扶助などを行い、最低限度の生活を保障します。

問い合わせ 社会福祉課 TEL36-1151

### 子育て支援・児童福祉の充実

#### 次世代育成支援行動計画策定事業 326万円

次世代育成支援行動計画（後期）策定のため、前期計画の総括と課題の整理などを行います。



#### 乳幼児医療費助成事業 4,219万円

乳幼児（小学校就学前児）にかかる医療費について全額または一部を助成します。

#### ひとり親家庭等医療費等助成事業 753万円

ひとり親家庭の父または母およびその児童に対し、医療費などの一部を助成します。

問い合わせ 子育て支援課 TEL36-1153

### 社会福祉の充実

#### 社会福祉協議会運営費補助事業 1億757万円

「ふれあいと支えあいのある心豊かな福祉社会」の実現を目指す、南房総市社会福祉協議会の運営、活動に対して補助金を交付します。

問い合わせ 社会福祉課 TEL36-1151



# 主な特別会計、公営企業会計

## 国民健康保険特別会計 62億758万1千円

みんなでお金を出し合い、個々の医療費の自己負担額を軽減しようとする助け合いの制度である国民健康保険事業を運営します。

### ○高額介護合算療養費の支給 490万円

国民健康保険と介護保険の両制度を利用する世帯の自己負担額が高額になった場合の負担軽減のため、合算した自己負担額が限度額（年額）を超えた場合、超えた額を「高額介護合算療養費」として支給します。

### ○特定健康診査事業・保健指導事業 3,882万円

40歳から74歳までの国民健康保険加入者を対象に特定健康診査を実施し、メタボリックシンドロームのハイリスク者には、特定保健指導を実施し、被保険者の皆さんの健康増進・保持に努めます。

### ○疾病予防事業 1,280万円

35歳以上の国民健康保険加入者を対象に短期人間ドック費用の助成を行います。

短期人間ドック：2日以内で行う総合的な精密検査及び脳精密検査

助成額：検査費用の7割（上限7万円）

## 介護保険特別会計 39億4,756万9千円

本格的な高齢化社会を迎えている中、介護を社会全体で支えあう制度の介護保険事業を運営します。

### ○居宅介護サービス給付事業（訪問介護、通所介護、リハビリ、短期入所、入浴介護など） 14億5,801万円

### ○地域密着型介護サービス給付事業（認知症対応型通所介護、共同生活介護など） 2億6,411万円

### ○施設介護サービス給付事業 16億338万円

特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）、老人保健施設（介護老人保健施設）、療養病床（介護療養型医療施設）などによるサービス

### ○包括的支援事業 3,934万円

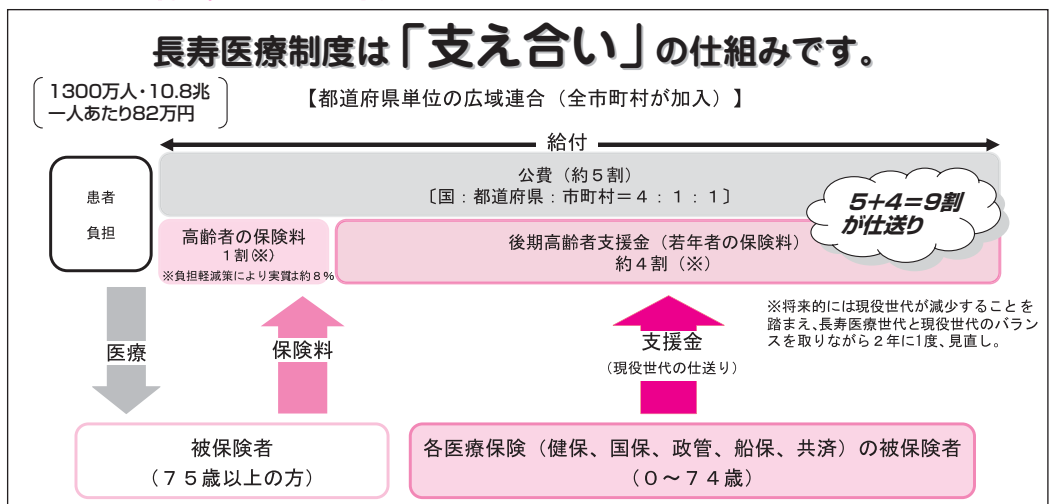
地域包括支援センターを2箇所設置し、総合相談支援、権利の擁護、介護予防マネジメントなど包括的継続的な支援を行います。

身近な地域での相談窓口として在宅介護支援センターを6箇所設け、高齢者福祉サービスの充実を図ります。

## 後期高齢者医療特別会計 4億7,401万9千円

長寿医療制度に基づき、保険料徴収業務および窓口業務等を行います。

保険料の賦課、保健給付の決定等は千葉県後期高齢者医療広域連合が行います。



11月1日の主な会計

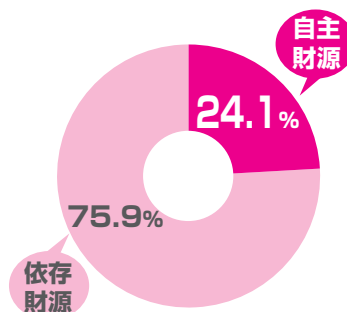
# 収入(一般会計予算)

南房総市の収入には、市の税金と国や県からの収入があります。  
また、銀行などからの借り入れや、施設の使用料などがあります。

		金額(単位:千円)	対前年度比(%)
市 税	みなさんが、南房総市に納める税金です。	4,012,712	△2.6
分担金及び負担金	事業を行ううえで、その事業に係る経費の一部を受益の程度に応じて負担していただきます。	141,750	6.5
使用料及び手数料	市の施設を利用する際に支払うお金です。	330,472	△2.2
市 債	銀行などから借金をします。	5,873,300	220.8
繰入金	主に、基金を取り崩し繰入します。	514,061	30.2
地方譲与税 地方消費税交付金など 地方交付税	みなさんが国に納める税金の一部です。 使いみちは自由です。	238,001 571,301 8,750,000	△7.0 △12.1 4.8
国・県支出金	みなさんが国や県に納める税金の一部です。 使いみちは特定されています。	2,017,896	△4.6
その他		545,507	△23.4
計		22,995,000	21.7

## 南房総市 の一般会計予算の

約**24%**が市税などの自主財源の収入です。  
国からの交付税などの依存財源は約**76%**です。



### 〔自主財源〕

市が自主的に収入しうることのできる財源です。  
市税、分担金および負担金、使用料および手数料、繰入金、財産収入などが該当します。

### 〔依存財源〕

国や県の意思により定められた額を交付されたり、割り当てられたりする収入のことです。地方交付税や地方譲与税、国県支出金、市債などが該当します。

# 支出(一般会計予算)

支出(歳出)を性質別に見てみます。性質ごとにまとめることで、支出の特徴を捉えることができます。

金額(単位:千円) 対前年度比(%)

## ◎義務的経費

人件費	4,782,121	△ 4.9
扶助費	1,396,904	3.1
公債費	2,888,461	△ 2.8
小計	9,067,486	△ 3.1

### 義務的経費

人件費、扶助費、公債費を「義務的経費」といいます。これらの費用は、毎年必ず支出しなければなりません。

- ・人件費…職員の給料などにかかる費用です。
- ・扶助費…生活保護費をはじめとして生活に困っている人や児童、高齢者、障害者などを援助するための費用です。
- ・公債費…過去に借り入れた借金の返済にかかる費用です。

## ◎消費的経費

物件費	2,895,174	△ 4.5
維持補修費	128,566	△ 10.2
補助費等	3,335,975	12.7
小計	6,359,715	3.7

### 消費的経費

後年度に形を残さない性質の費用です。

- ・物件費…光熱水費、消耗品費、通信運搬費などです。
- ・維持補修費…施設の維持管理のための費用です。
- ・補助費等…一部事務組合などに対する負担金などです。

## ◎投資的経費

普通建設事業費	2,127,828	△ 3.5
補助	1,408,437	27.3
単独	719,391	△ 34.5
災害復旧事業費	4,222	△ 22.9
小計	2,132,050	△ 3.5

### 投資的経費

幼稚園、小学校・中学校の建て替えや大規模な改築、道路の整備・建設など都市基盤の整備・農業農村基盤整備にかかる費用です。

## ◎その他の経費

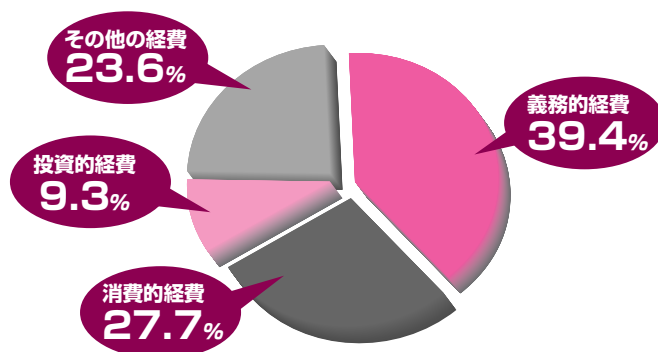
積立金	4,149,059	23,884.4
投資及び出資金	101,962	3.1
貸付金	30,000	400.0
繰出金	1,134,728	7.1
予備費	20,000	0.0
小計	5,435,749	352.2

### その他の経費

その他の経費は、上記以外の経費です。

- ・積立金は、各種基金への積立です。
- ・繰出金は、特別会計予算への繰出です。
- ・予備費は、緊急に支出を必要とした場合のために予定しています。

計 22,995,000 21.7



# 市の借金(市債)の状況

## 市債(しさい)

市債とは、市が公共事業などを行うとき、必要な資金を集めるために行う借金のことをいいます。自治体の予算ではその年度に使うお金は、その年度に得る収入(市税や地方交付税など)で賄うことを基本としています。しかし、それだけでは多額の費用がかかる大型の公共事業などは行うことが難しくなりますので、自治体でも必要な資金を借入れることができる制度が設けられています。1年を超える長期にわたる借金が市債です。

道路や学校などの施設整備は、その恩恵を現在の住民ばかりでなく、世代を超えて享受される施設であることから、世代間の負担を公平にするという意味でも、市債の発行による資金確保を行うケースがあります。

### (普通会計)

一般会計 254億1,957万円

公共用地取得事業特別会計 3,042万円

### (企業会計)

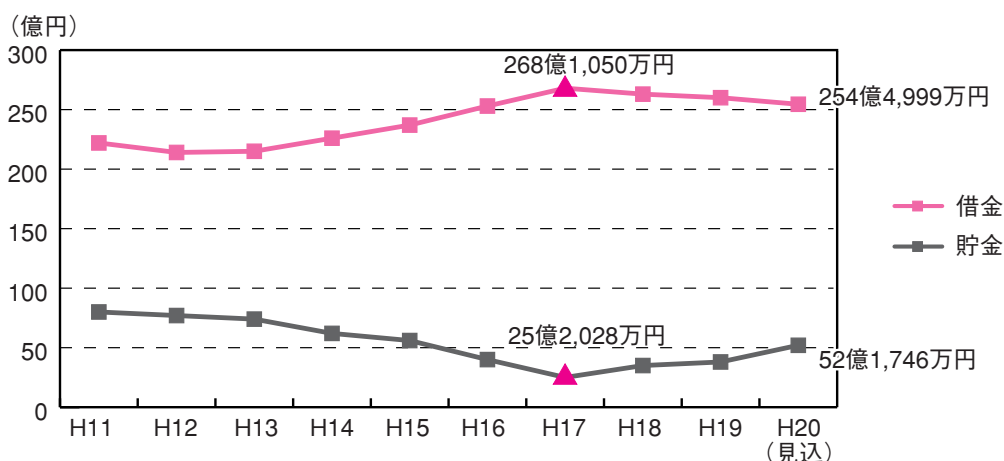
水道事業会計 30億5,619万円

国保病院事業会計 3億5,034万円

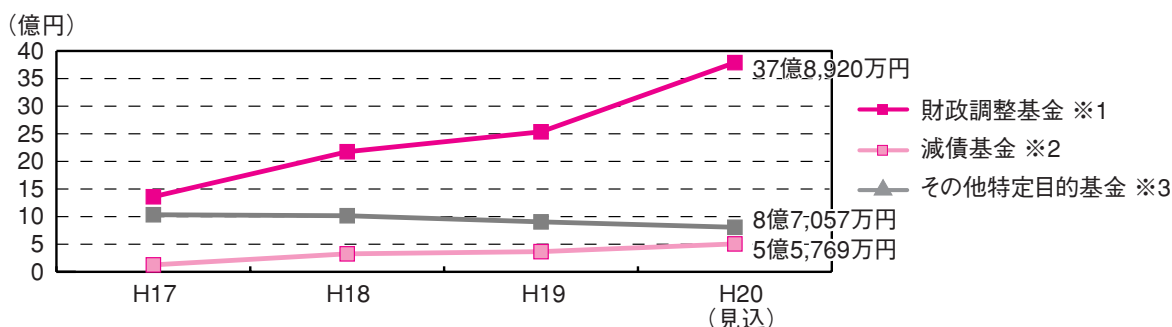
平成20年度末(見込み)

## 市の借金(市債)と貯金(基金)の推移 (普通会計)

南房総市の貯金と借金の推移は次のようになっています。



## 主要な貯金(基金)の推移 (普通会計)



- ※1 財政調整基金・・・予期しない収入減少や不時の支出増加等に備え、長期的視野に立った計画的な財政運営を行うために、財源に余裕のある年度に積み立てるお金。
- ※2 減債基金・・・借金の返済を計画的に行うための資金を積み立てる目的で設けられるお金。
- ※3 その他特定目的基金・・・特定の目的のために積み立てるお金。

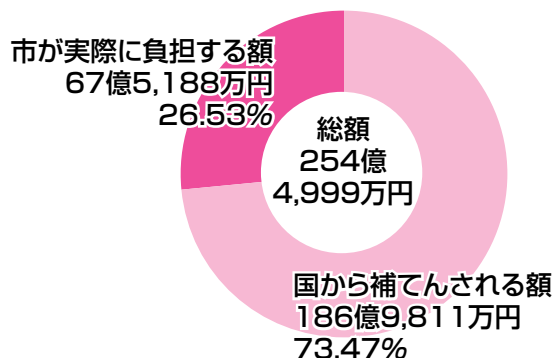
# 借金(市債)残高のうち市が負担する額

# 67億5,188万円

(普通会計)

借金(市債)の中には、本来、国が補助金や交付金などの形で地方自治体に交付しなければならないものを国に代わって地方自治体が借り入れし、その返済額を国が補てんしているものも含まれます。また、公共施設などの整備が遅れている過疎地域などでは、整備が進みやすいよう返済額の一部を国が補てんする借金もあります。このように国が補てんする返済額は、毎年、地方交付税として交付されています。

※ 借金の返済に対して国から補てんされる額を将来にわたって正確に算出することはできませんが、およその目安として計算しています。



## ☆地方交付税により補てんされる市債として 主なものをいくつか挙げてみます。

### 合併特例事業債

平成の大合併により合併した団体が、新市建設計画に基づく事業の資金として発行できる市債

〔補てん割合〕 70%

平成21年度

元気なまちづくり基金 37億7,150万円  
新火葬場 1億4,120万円  
白浜中 7億3,980万円  
給食センター(内房) 2,510万円 など

施設名	市債残高	国交付額	市負担額
健田小	8億4,950万円	5億9,465万円	2億5,485万円
南幼稚園	1億4,020万円	9,814万円	4,206万円
和田中体育館	2億560万円	1億4,392万円	6,168万円
白浜中	1億980万円	7,686万円	3,294万円
健田幼稚園	2億6,640万円	1億8,648万円	7,992万円
新火葬場	2,820万円	1,974万円	846万円
その他	2億2,649万円	1億5,854万円	6,795万円
合計	18億2,619万円	12億7,833万円	5億4,786万円

### 辺地対策事業債

辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律に基づき、総合的整備計画事業の資金として発行できる市債

〔補てん割合〕 80%

施設名	市債残高	国交付額	市負担額
農林道、市道 消防防災施設(消防車、防火水槽、消火栓など) など	8億5,116万円	6億8,093万円	1億7,023万円
合計	8億5,116万円	6億8,093万円	1億7,023万円

### 過疎対策事業債

過疎地域自立促進法により過疎地域として認定された団体が、過疎地域自立促進計画に基づく事業の資金として発行できる市債

〔補てん割合〕 70%

平成21年度

携帯電話基地局 680万円  
林道 1,330万円 市道 1億7,710万円  
消防施設 2,320万円

施設名	市債残高	国交付額	市負担額
農林道、市道 消防防災施設(消防車、防火水槽、消火栓など) 千倉総合運動公園野球場 和田スクールバス(学校統合) など	45億3,644万円	31億7,551万円	13億6,093万円
合計	45億3,644万円	31億7,551万円	13億6,093万円

### 臨時財政対策債

地方一般財源の不足に対処するための特例市債。地方交付税交付額の不足分を国に替わって発行する市債で、返済額は全額補てんされます。

〔補てん割合〕 100%

平成21年度 9億5,000万円

	市債残高	国交付額	市負担額
	71億1,262万円	71億1,262万円	0万円

※市債残高は平成20年度末の見込み額を基にしています。

# 健全性は

【本資料は千葉県より公表されたH19決算数値に基づき南房総市が作成したものです。(掲載団体は近隣市および類似団体)】

さまざまな指標をもとに判断すると、南房総市の財政状況は「緊急手術の必要はないものの、長寿命化を図るため、肉体改造と徹底した健康管理が必要な状態」です。

## ○財政体力を示す「財政力指数」

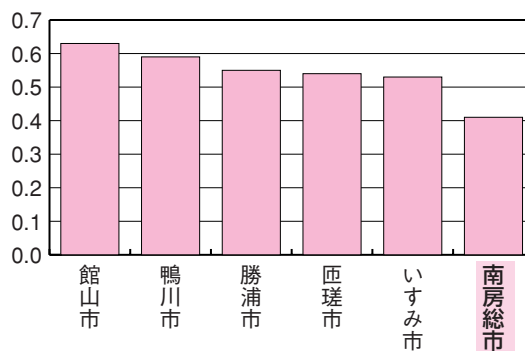
(数字が大きいくほど、より健全)

南房総市は、0.41

(県内市町村平均 0.79)

市の人口や面積などに応じ標準的にかかるお金に対して、自主的な収入(市の税金や各種使用料など)がどの程度あるかを示す指標です。数値が「1」であれば、100%自主的な収入で市の運営ができることになります。

南房総市は、「0.41」です。つまり、自主的な収入で賄えるのは41%ほどしかないとわかります。



## ○財政自由度のバロメータ「経常収支比率」

(数字が小さいほど、より健全)

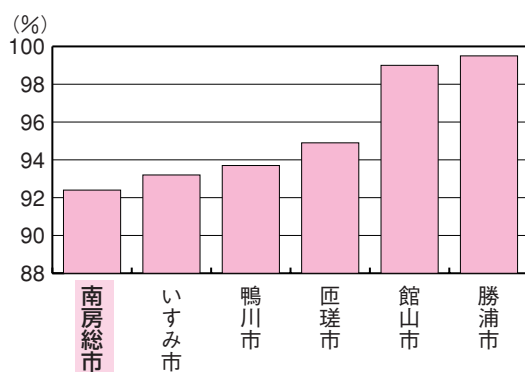
南房総市は、92.4%

(県内市町村平均 92.1%)

市の税金や地方交付税など毎年決まって入ってくるお金(経常的な収入)に対して、人件費や施設の維持費など毎年決まって出て行くお金(経常的な経費)がどの程度の割合になるかを示す指標です。

数値が「100%」の場合、決まって入ってくるお金のすべてが決まった支出として出て行くため、その年に自由に使えるお金はゼロということになります。

南房総市は、「92.4%」です。つまり、自由に使えるお金は8%程度となり、あまり余裕がない状況です。



## ○体力以上の借金負担がないかをチェックする「実質公債費比率」

(数字が小さいほど、より健全)

南房総市は、11.9%

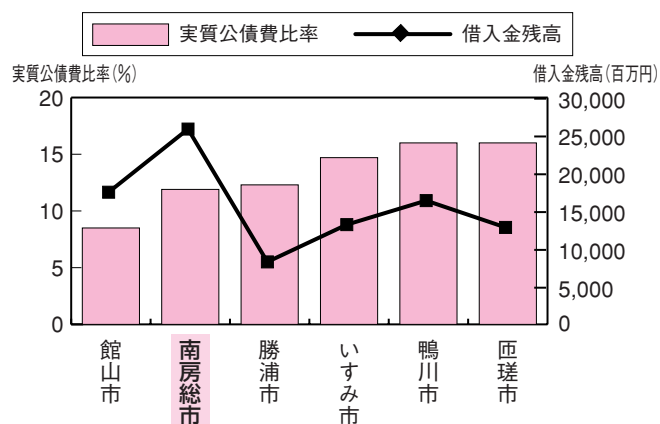
(県内市町村平均 12.1%)

市の税金や地方交付税など毎年決まって入ってくるお金(経常的な収入)に対して、借入金(市債)の返済にあてた経費(公債費)がどの程度の割合になるかを示す指標です。

一般会計、特別会計などすべての会計にわたり計算され、借金返済の負担が多すぎないかチェックすることができます。

チェックの目安として国が定めた基準により「18%」以上になると、新たな借入れ(地方債の発行)に際し段階的に制約を受けることになります。

南房総市は「11.9%」です。近隣および県内類似団体に比べ借入金残高は多額ですが、返済額に対し地方交付税により国から補てんされるため、返済の負担は低く抑えられています。



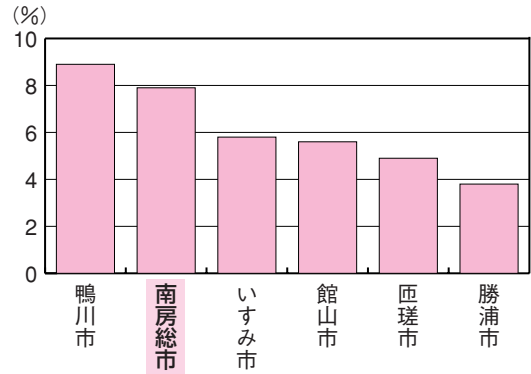
# 市の財政の

## ○収支決算をチェックする「実質収支比率（赤字の場合は実質赤字比率）」 （数字が大きいほど、より健全）

南房総市は、7.9%  
（県内市町村平均 5.5%）

市の人口や面積などに応じ標準的にかかるお金に対して、その年の一般会計決算により生じた実質収支額（収入から支出を差し引いた額）がどの程度の割合になるかを示す指標です。

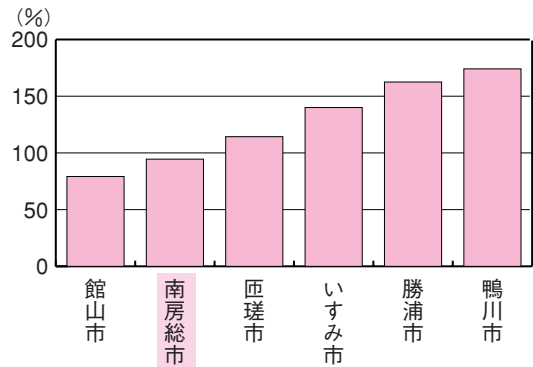
収支決算が黒字であればプラス、赤字であればマイナスとなり、その年の決算が健全であったかどうかをチェックすることができます。



## ○将来負担すべき実質的な負債をチェックする「将来負担比率」 （数字が小さいほど、より健全）

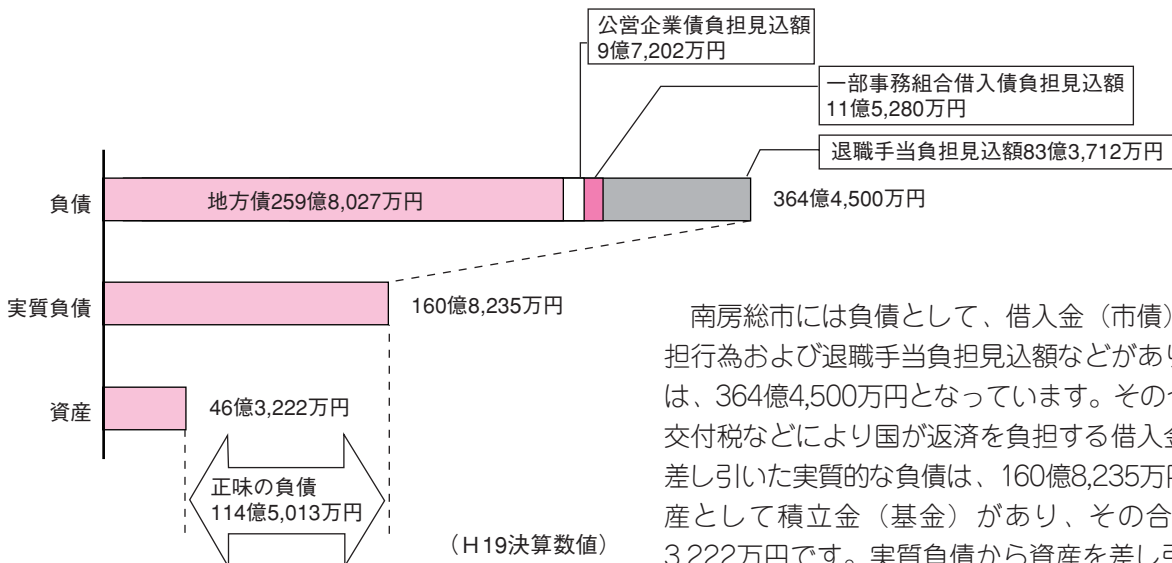
南房総市は、94.5%  
（県内市町村平均 102.8%）

市の人口や面積などに応じ標準的にかかるお金に対して、借入金（市債）や債務負担（複数年にわたり支払いの予定があるもので、借入金に準ずるもの）などのすべての負担額から積立金（基金）などを引いた金額がどの程度の割合になるかを示す指標です。



資料編

## 市の資産や負債の状況は



南房総市には負債として、借入金（市債）と債務負担行為および退職手当負担見込額などがありその合計は、364億4,500万円となっています。そのうち、地方交付税などにより国が返済を負担する借入金の残高を差し引いた実質的な負債は、160億8,235万円です。資産として積立金（基金）があり、その合計は46億3,222万円です。実質負債から資産を差し引いた額の114億5,013万円が正味の負債といえます。

# 元気なまちづくり基金とは

安全で安心して暮らせる地域社会の形成をめざすとともに、地域産業の振興および地域の活性化により活力ある南房総市をつくりあげるために設置する基金です。



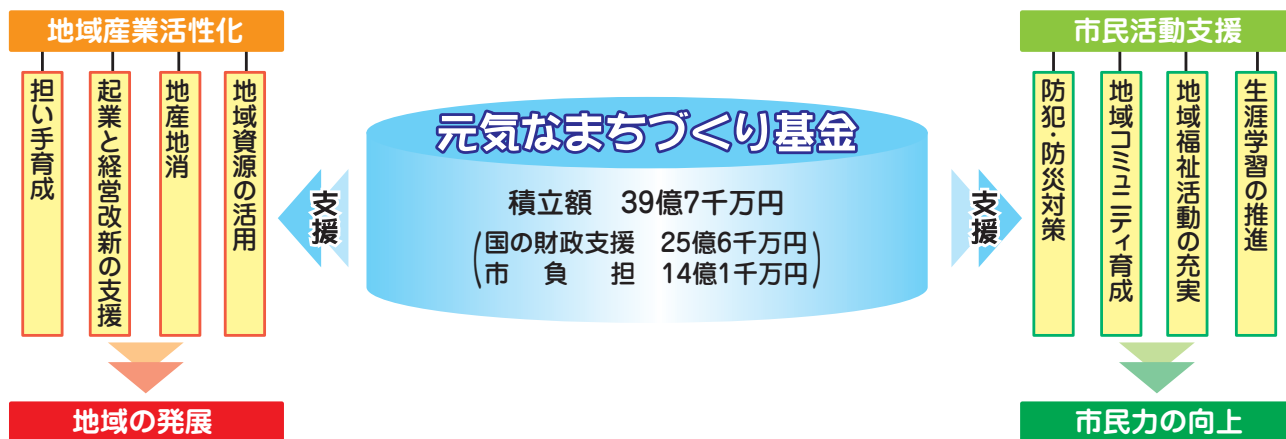
**ポイント1** 合併に伴う、財政支援措置として地域振興などのための基金に対して、合併特例債を活用することができます。

南房総市の積立額は39億7千万円、そのうち合併特例債によって借り入れる額は37億7,150万円。(積立額の95%)

**ポイント2** 合併特例債借入金の返済の7割は、国から普通交付税により返済されます。

39億7千万円の基金積立てに対し、25億6千万円が、国から財政支援され、南房総市の負担額は14億1千万円となります。

**ポイント3** 基金の運用方法は、安全かつ高利回りな国債などを活用し、発生した運用益は地域振興事業など、市の主要事業に充てていきます。

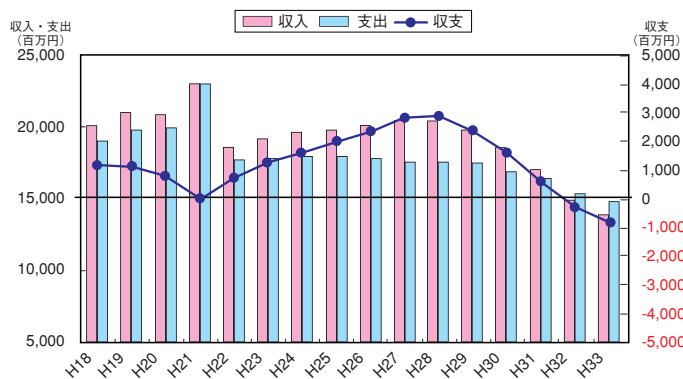


## ○今後の財政の見通し

合併により、新しい市の一体化の醸成、合併後の地域支援などのため、一定の期間に限り国・県から特別な財政支援（合併補助金、合併特例債、地方交付税の算定替えなど）が施されており、現状を維持している状況です。

合併から15年後の平成33年には、これらの合併に伴う財政支援のすべてが終了することになり、地方交付税（20年度交付額83億9千万円）は少なくとも年間30億円減額となる見込です。

健全な財政運営を堅持していくためには、行政体制の整理、施設の統廃合を積極的に推進し、簡素で効率的な行財政の仕組みを構築し、適正な予算規模（歳入にあった歳出規模、概ね150億円程度）への転換を進める必要があります。



この「ことしの予算」の内容に関するご意見・お問い合わせは、南房総市役所 総務部 財政課（TEL 33-1022）へお気軽にご連絡ください。